

静岡県月例経済報告

(令和 7 年 7 月号)

……令和 7 年 5 月を中心とした県内経済のすがた……

No. 591



静岡県と  Otsuka 大塚製薬は包括連携協定を締結し、
熱中症対策を推進しています。



SUMMER IN SHIZUOKA IS HOT AND HUMID

**静岡の夏
熱中症
に気をつけよう**

BEWARE OF NECHUSHO (HEAT ILLNESS)

熱中症対策 4つのポイント
4 Pointers for NECHUSHO (HEAT ILLNESS)

-  **こまめな水分補給**
Be sure to rehydrate frequently
-  **酷暑時には体を冷却**
Body cooling in hot environment
-  **暑さを避ける**
Avoiding the heat
-  **暑さに備えた体づくり**
Body making I had is made the heat



おすすめの水分補給

塩分
0.1~0.2%
含塩明用量
100mlあたり
0.1~0.2g

成分表示を
チェック

**からだに必要な塩分などの
電解質を補給しよう**

※参考：公益財団法人日本スポーツ協会「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」



— 静岡県経済産業部 —

目 次

I	静岡県経済の概況	1
II	静岡県主要経済指標の概況	7
	・ 需要面	7
	・ 生産面	15
	・ 雇用面	17
	・ その他	20
III	静岡県主要産業の動向	24
IV	データからみた県内主要産業	27

利 用 に あ た っ て

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL)

<https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/keizaisangyo/tokeishiryo/getsureihokoku/index.html>

I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、令和7年5月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

概 況

令和7年5月を中心とした静岡県の景気は、緩やかに持ち直している。

先行きについては、全体としては持ち直しの動きが期待されるが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクが高まっている。雇用・所得環境や海外経済、金利・為替の動向等に十分注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きに弱さがみられる。

- ・ 個人消費は、物価上昇などの影響がみられるものの、緩やかに増加している。
- ・ 設備投資は、製造業を中心に増加している。
- ・ 輸出は、弱い動きとなっている。
- ・ 生産は、横ばいとなっている。

（下線部は前月からの変更箇所）

需 要 面

「個人消費は、物価上昇などの影響がみられるものの、緩やかに増加している」

大型小売店販売額（5月）は、百貨店が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、スーパーが7か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも7か月連続で前年実績を上回った。

専門量販店等販売額（5月）は、ホームセンターが3か月連続で前年実績を下回ったものの、家電大型専門店が7か月連続、コンビニエンスストアが3か月連続、ドラッグストアが49か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも41か月連続で前年実績を上回った。

自動車（新車）新規登録台数（5月）は、乗用車が2か月連続で前年実績を下回ったものの、軽自動車が5か月連続で前年実績を上回ったため、総数でも5か月連続で前年実績を上回った。

「住宅建設は、前年を下回った」

新設住宅着工戸数（5月）は、分譲住宅が5か月ぶり、持家が2か月連続、貸家が4か月連続で前年実績を下回ったため、総数でも4か月連続で前年実績を下回った。

「公共投資は、前年を下回った」

公共工事請負金額（5月）は、3か月ぶりに前年実績を下回った。

「設備投資は、製造業を中心に増加している」

日銀短観（6月調査）の令和7年度の設備投資（含む土地投資）（計画）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）（計画）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

着工建築物床面積（非居住用）（５月）は、４か月連続で前年実績を下回った。

「輸出は、弱い動きとなっている」

「輸入は、前年を上回った」

輸出総額（５月）は、自動車の部分品が９か月ぶり、エアコンが１２か月連続、二輪自動車類が４か月連続で前年実績を上回ったものの、原動機が２か月ぶり、自動車５か月連続、科学光学機器が１０か月連続で前年実績を下回ったため、総額でも５か月連続で前年実績を下回った。

また、輸入総額（５月）は、魚介類及び同調製品が３か月ぶり、パルプ、原動機がいずれも２か月ぶり、自動車の部分品が４か月連続で前年実績を下回ったものの、木材が４か月ぶり、紙類及び同製品が２か月ぶりに前年実績を上回ったため、総額でも２か月ぶりに前年実績を上回った。

なお、輸出入のバランスは、４９５億円の輸出超過となった。

生産面

「生産は、横ばいとなっている」

鉱工業生産指数（５月）は、電気機械が９か月連続で前年水準を上回ったものの、パルプ・紙・紙加工品が３か月ぶり、はん用・生産用・業務用機械が８か月連続、輸送機械が４か月連続、化学が５か月連続、食料品・たばこが２か月連続で前年水準を下回ったため、総合でも４か月連続で前年水準を下回った。なお、前月比は２か月連続で増加した。

鉱工業在庫指数は、総合では７か月連続で前年水準を下回った。

雇用面

「雇用情勢は、改善の動きに弱さがみられる」

有効求人倍率（５月）は１．０８倍となり、前月を０．０２ポイント下回った。５２か月連続で１倍台となった。また、全国値を０．１６ポイント下回った。

雇用保険受給者実人員（５月）は、２６か月ぶりに前年実績を下回った。

また、所定外労働時間指数（４月）は、２か月ぶりに前年実績を下回った。

その他

「金融環境は、貸出残高は前年を上回り、信用保証金額は前年を上回った」

県内金融機関の貸出残高（５月）は、前年同月比 ２．０％増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額（５月）は、前年同月比 ５２．２％増と前年実績を上回った。

「企業倒産は、件数は前年を下回り、負債総額は前年を下回った」

企業倒産（５月）は、件数は１７件（前年同月比 ２２．７％減）と前年実績を下回り、負債総額は１，６５３百万円（同 ８４．１％減）と前年実績を下回った。



令和7年度 新設

中小企業等収益力向上事業費補助金

-米国関税対応枠-



米国関税措置による影響を最小化し、付加価値向上を目標とする中小企業等の取組を支援します！

補助率

1/2以内

補助上限額

300万円

(下限50万円)

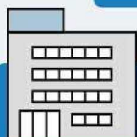
米国関税措置による影響の例

影響を受けている場合	今後影響を受ける見込みがある場合
取引先企業からの受注減やキャンセルが生じている	急激な原材料のコスト上昇により、自社負担が増加する見込みである
サプライチェーンの混乱により、部品等の調達が難航している	収益不透明による採用計画の見直し等を実施予定である

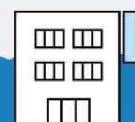
★ 収益力や生産性向上につながる新たな事業に対して補助

事業スケジュール(見込み)

- ① **8/1** 応募開始 ~ 締切 **9/1**
- ② 採択者決定 (10月上旬以降に通知)
- ③ 交付申請・交付決定+補助事業開始(順次)



お問い合わせ 静岡県経済産業部 商工業局 商工振興課



事業概要

補助対象者	県内の中小企業者等で、以下の要件を満たしているもの 1 米国関税措置の影響を受けている、又は今後受ける見込みがある (例) 取引先企業からの受注減、急激な原材料のコスト上昇による自社負担増 など 2 米国へ輸出している若しくは米国から輸入している、又は今後その予定がある (例) 自社製品の米国への輸出 第三国から調達した原材料を使用し、米国内で生産された製品を輸入 など
補助対象事業	米国関税措置に対応するための、販路拡大や新商品開発、生産性向上などの新たな取組 (例) 米国向け商品の売上依存度を下げるため、訪日客向けの新商品を開発 米国へ輸出する自動車部品の加工技術を活用し、農業機械向け製品を開発 など
補助額	上限300万円（下限50万円）
補助率	補助対象経費（税抜）の1/2以内（千円未満切捨）
補助事業期間	交付決定日から令和8年3月20日（金）まで
補助対象経費	専門家謝金、専門家旅費、職員旅費、原材料費、機械部品又は工具器具費、機械装置費(※)、産業財産権等の導入に要する経費、委託・外注費、展示会等出展費、資料購入費、通信運搬費、借料、調査研究費、雑役務費、広報費、通訳・翻訳料 <u>※機械装置費については、制限あり(補助対象経費の1/2以内)</u>
募集期間	令和7年8月1日（金）10時～令和7年9月1日（月）17時
応募方法	ふじのくに電子申請サービスから申請

詳細については、県ホームページをご覧ください。

URL : <https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/kigyoshien/shienhojokin/1075857.html>

静岡県 中小企業等収益力向上補助金（米国関税対応枠）

検索



お問い合わせ先

静岡県経済産業部商工業局商工振興課
TEL:054-221-2512
E-mail:ssr@pref.shizuoka.lg.jp

2025 静岡県 ロボット等実機展示イベント



ロボットやAI・IoTの導入に関心のある県内企業や県民の皆さまに向けて、最新の技術を紹介するイベントを実施し、活用のヒントや導入のきっかけを提供します。

- ◆日時：令和7年8月27日（水曜）10時00分～16時30分
- ◆会場：グランシップ 6階 展示ギャラリー1（静岡市駿河区東静岡2-3-1）
- ◆内容：ロボット、AI・IoT関連機器の実機展示／個別相談ブース 等
- ◆参加：無料！どなたでもご来場できます（来場申込はページ↓）



イベント詳細
▶▶▶

出展者一覧

50音順

	企業名	業種	キャッチコピー
1	有限会社池田ゴム	安全衛生保護具の販売	全ての働く人たちへ安全と安心をお届けします
2	株式会社ウチゲン	ロボットSier	3K対策効率化システム
3	SMC株式会社	ロボット周辺機器	ロボットハンドソリューションの提案
4	codeless technology株式会社	ソフトウェア	いつもの書類を「そのままDX」
5	connectome.design株式会社	ソフトウェア	AI外観検査・AI作業監視ソリューションの展示
6	株式会社コハラ	ロボットSier	誰でも簡単！画像処理と機器制御がPC1台で可能です
7	三明機工株式会社	ロボットSier	シミュレーション上で行う安全なロボット操作演習！
8	株式会社シーズプロジェクト	ソフトウェア	目で見るDX”が中小企業を変える。
9	芝原工業株式会社	製造業(板金加工)	作業者を守り・育てる レーザー溶接用電子ゴーグル
10	株式会社ソミクトランスフォーメーション	ロボットメーカー	自動搬送ロボット「SUPPOT」
11	有限会社チアキ機工	ロボットSier	ロボットが現場にやってくる！1日自動化トライ！
12	テックポート株式会社	ソフトウェア	製造現場を知っているIoT・AIに強いソフト会社
13	株式会社東洋鉄工所	ロボットSier	ロボットを道具のように使いこなすTAFLINK
14	株式会社特電	ロボットSier	ワンストップソリューションで生産現場の課題を解決
15	株式会社BRICS	ロボットSier/ソフトウェア	生成AI × 協働ロボットで操作をもっと簡単に
16	株式会社ヤナギハラメカクス	ロボットSier	お客様のロボット導入をトータルにサポートします！



◆お問合せ◆
（一社）日本ロボットシステムインテグレート協会 担当（高本・高橋）
TEL：03-6453-0131 / E-mail：sier@jarsia.jp

ロボット・AI・IoT フェア
in Shizuoka
来場申込



▶▶▶



静岡県立工科短期大学校 OPEN CAMPUS ～授業見学会 in 静岡キャンパス～²⁰²⁵



8.26(火)

開催時間

午前の部 10時～
午後の部 13時～

2部制

※受付は開始30分前から

会場

本校静岡キャンパス

※車でお越しの際は、校内駐車場を御利用ください

Point

- ◆ 8月のオープンキャンパスでは、実際の授業風景を御覧いただけます

午前

学科授業(座学)

午後

実習・実験

- ◆ 共通メニューの後は、①授業の自由見学、②個別相談、③体験授業のメニューを自由に組み合わせて選べます

- ◆ お帰りの時間は自由です

オープンキャンパスメニュー (タイムスケジュールは次ページを御参照ください)

共通 メニュー (約60分)	学校概要説明・入学案内・各科説明（約40分）				
	授業見学【午前は学科授業（座学）、午後は実習】（約15分）＊スタッフが御案内します				
選択 メニュー	次の①～③のメニューを自由に組み合わせて選択いただけます。				
	①自由見学 ＊授業を自由に 見学	②個別相談 ＊相談コーナー で受付	③体験授業（各回約25分）＊		
			午前の部		午後の部
			3DCAD体験（1回目）	PLC体験（1回目）	PLC体験（1回目）
			3DCAD体験（2回目）	PLC体験（2回目）	PLC体験（2回目）
	お帰りの時間は自由です（お帰りの前にアンケートに御協力ください）				

*午前の体験授業は「3DCAD」又は「PLC」のどちらか一方だけの参加も可能です。午後は「PLC」のみです。
*体験授業1回目と2回目は同じ内容です。希望者多数の場合、機器1台を数人で使用いただくことがあります。

申込

本校ホームページからお申込みください。☀️屋内外の見学がありますので、時節柄、暑さ対策に御留意の上、御来場ください。



静岡県立工科短期大学校

<https://scot.ac.jp/>



● 静岡キャンパス / 〒424-0881 静岡県静岡市清水区楠160 TEL 054-345-2033 FAX 054-345-2921

II 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

5 月 = 39,155百万円

* 前年同月比： 4.4%増

(県内3百貨店、163スーパー合計)

<概況>

5月の大型小売店販売額は39,155百万円で、前年同月比4.4%増となり、7か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比2.3%減）が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、スーパー（同5.5%増）が7か月連続で前年実績を上回った。

商品別では、衣料品（同17.4%減）が5か月連続、身の回り品（同10.1%減）が7か月連続、家庭用品（同6.5%減）が5か月連続で前年実績を下回ったものの、飲食料品（同6.8%増）が10か月連続で前年実績を上回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は4.7%増と、17か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R6年10月	11月	12月	R7年1月	2月	3月	4月	5月
販売額（百万円）	37,543	38,829	47,865	39,903	36,272	40,511	37,850	39,155
前年同月比（%）	▲0.6	2.9	2.3	2.1	2.1	3.6	4.9	4.4
うち百貨店（%）	2.6	2.7	2.2	3.3	3.2	▲1.0	0.7	▲2.3
スーパー（%）	▲1.2	2.9	2.4	1.9	1.9	4.4	5.6	5.5
（参考1）全国前年同月比（%）	▲0.5	3.5	2.9	2.9	0.6	1.7	1.5	0.6
うち百貨店（%）	▲0.8	3.4	2.8	5.1	▲1.7	▲2.9	▲4.5	▲7.0
スーパー（%）	▲0.3	3.6	3.0	2.1	1.6	3.7	3.9	3.6
（参考2）県前年同月比（店舗数調整前）	0.2	3.6	3.0	3.2	3.8	4.7	5.1	4.7

（注1）販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

（注2）令和2年3月に調査事業者の見直しを行ったため、前年同月比の計算についてはリンク係数処理済み

<商品別前年同月比の推移>

（単位：%）

	R6年10月	11月	12月	R7年1月	2月	3月	4月	5月
衣料品	▲11.0	▲0.2	0.2	▲4.8	▲17.8	▲17.1	▲19.4	▲17.4
うち紳士服・洋品	▲19.2	▲4.3	▲1.4	▲2.7	▲19.5	▲19.6	▲24.6	▲19.6
婦人・子供服・洋品	▲7.4	1.2	▲0.1	▲5.8	▲17.8	▲16.7	▲17.8	▲17.6
身の回り品	0.2	▲1.3	▲1.3	▲8.5	▲5.8	▲15.5	▲17.5	▲10.1
飲食料品	0.3	3.0	2.1	3.5	2.6	5.0	7.5	6.8
家庭用品	▲3.1	2.8	4.1	▲3.1	▲6.3	▲6.5	▲7.4	▲6.5
うち家庭用電気機械器具	▲2.9	4.2	6.9	▲2.8	13.4	5.0	4.7	5.2

（注）店舗数調整済、全月速報値

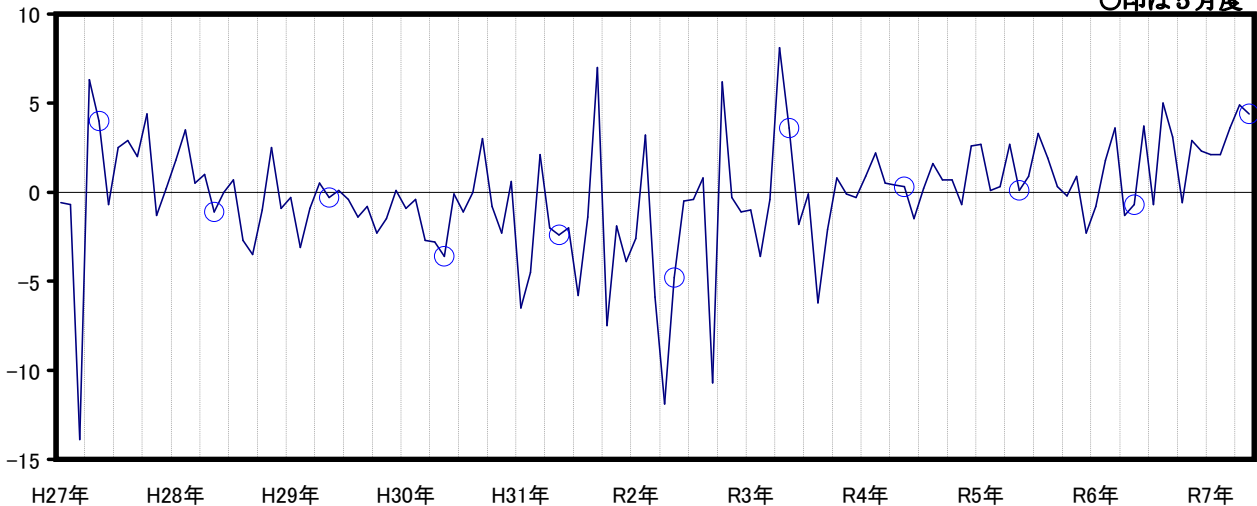
<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比（%）

<資料>経済産業省

○印は5月度



(2) 専門量販店等販売額

5 月 = 80,070百万円

*前年同月比： 3.4%増

(県内92家電大型専門店、1,667コンビニエンスストア、620ドラッグストア、112ホームセンター合計)

<概 況>

5 月の専門量販店等販売額は80,070百万円で、前年同月比 3.4%増となり、41か月連続で前年実績を上回った。
業態別にみると、ホームセンター（前年同月比 0.6%減）が3か月連続で前年実績を下回ったものの、家電大型専門店（同 5.9%増）が7か月連続、コンビニエンスストア（同 2.2%増）が3か月連続、ドラッグストア（同 5.3%増）が49か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R 6 年10月	1 1 月	1 2 月	R 7 年1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
販 売 額 (百 万 円)	77,382	77,216	89,980	76,831	71,641	83,621	77,470	80,070
前 年 同 月 比 (%)	0.4	3.0	4.5	3.0	1.0	4.0	2.3	3.4
うち 家電大型専門店 (%)	▲ 1.5	5.2	4.1	2.7	5.5	3.2	3.2	5.9
コンビニエンスストア (%)	1.0	1.8	2.9	2.8	▲ 0.6	3.0	1.8	2.2
ドラッグストア (%)	2.0	4.1	6.4	4.8	1.7	6.4	3.8	5.3
ホームセンター (%)	▲ 6.1	0.9	3.5	▲ 2.9	0.0	▲ 0.5	▲ 2.3	▲ 0.6
(参考) 全国前年同月比 (%)	1.4	3.5	3.5	4.5	2.1	5.0	3.6	4.5

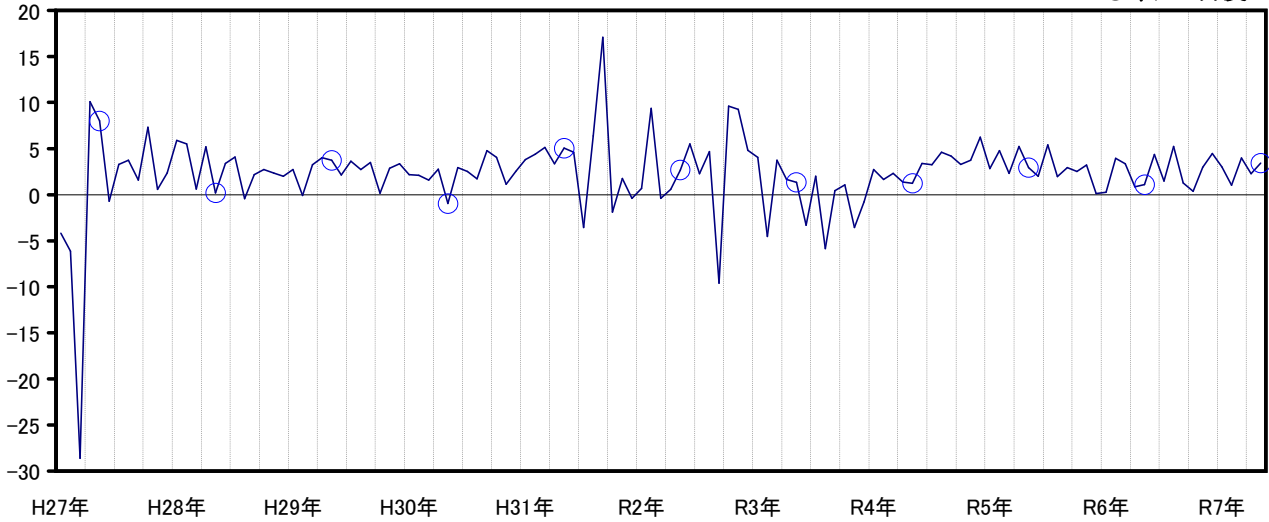
(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整
(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省
○印は5月度



(3) 自動車(新車)新規登録台数
(乗用車、軽自動車合計)

5月 = 10,847 台

* 前年同月比： 5.4%増

<概 況>

5月の自動車(新車)新規登録台数は、10,847台で、5か月連続で前年実績を上回った。
車種別にみると、乗用車(前年同月比 0.1%減)が2か月連続で前年実績を下回ったものの、
軽自動車(同 12.3%増)が5か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R 6年10月	1 1月	1 2月	R 7年1月	2月	3月	4月	5月
登 録 台 数 (台)	13,935	13,461	11,603	14,274	15,574	17,219	11,709	10,847
前 年 同 月 比 (%)	2.7	▲ 4.0	▲ 5.9	15.4	21.9	9.7	11.0	5.4
(参考) 全国前年同月比 (%)	1.0	▲ 3.9	1.7	15.0	18.8	9.6	11.0	3.1

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移> (単位：%)

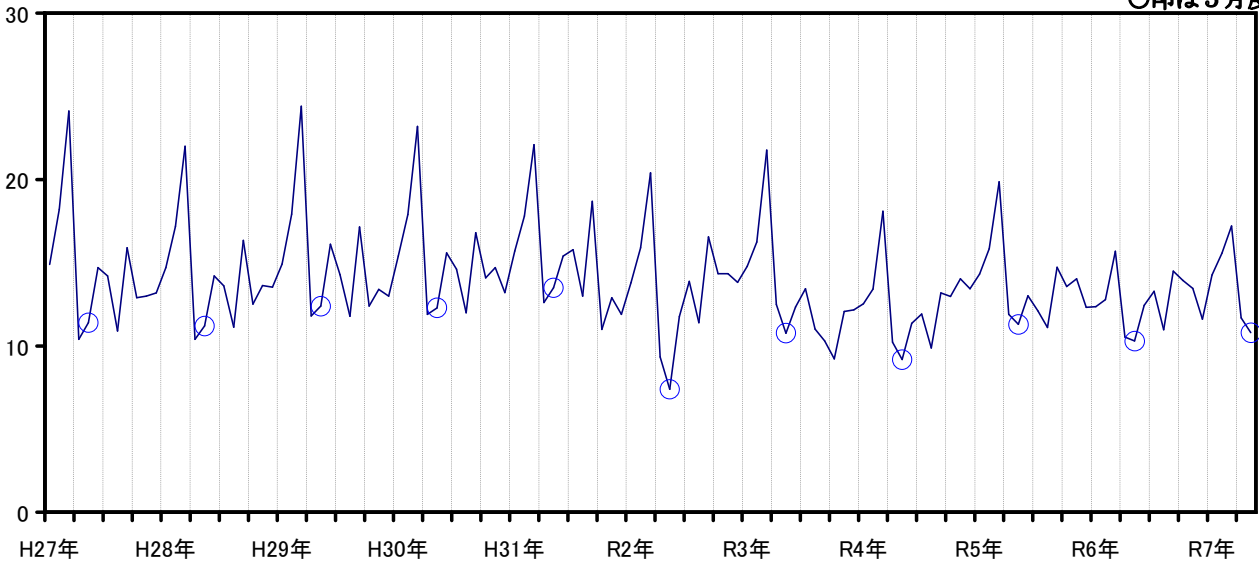
	R 6年10月	1 1月	1 2月	R 7年1月	2月	3月	4月	5月
全 乗 用 車	2.7	▲ 4.0	▲ 5.9	15.4	21.9	9.7	11.0	5.4
乗 用 車	11.9	▲ 0.1	▲ 7.8	17.8	19.9	9.4	▲ 0.1	▲ 0.1
軽 自 動 車	▲ 6.5	▲ 8.4	▲ 3.8	12.7	24.3	10.1	26.6	12.3

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課
○印は5月度



(注) 全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

5 月 = 1,174 戸

*前年同月比： 43.5%減

<概 況>

5 月の新設住宅着工戸数は1,174戸で、前年同月比 43.5%減と、4 か月連続で前年実績を下回った。
利用関係別にみると、分譲住宅（前年同月比 70.0%減）が5 か月ぶり、持家（同 24.9%減）が2 か月連続、貸家（同 29.0%減）が4 か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R 6 年10月	1 1 月	1 2 月	R 7 年1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
戸 数 (戸)	2,046	1,396	1,047	1,995	1,381	1,525	1,412	1,174
前 年 同 月 比 (%)	44.9	▲ 3.9	▲ 30.8	51.6	▲ 11.0	▲ 4.6	▲ 19.3	▲ 43.5
うち 持 家 (%)	6.7	3.3	1.1	1.9	3.1	17.7	▲ 16.8	▲ 24.9
貸 家 (%)	60.3	▲ 34.6	▲ 67.7	174.3	▲ 37.5	▲ 25.6	▲ 41.5	▲ 29.0
分譲住宅 (%)	20.2	28.7	▲ 37.1	28.3	15.9	11.1	14.4	▲ 70.0
(参考) 全国前年同月比 (%)	▲ 2.9	▲ 1.8	▲ 2.5	▲ 4.6	2.4	39.1	▲ 26.6	▲ 34.4

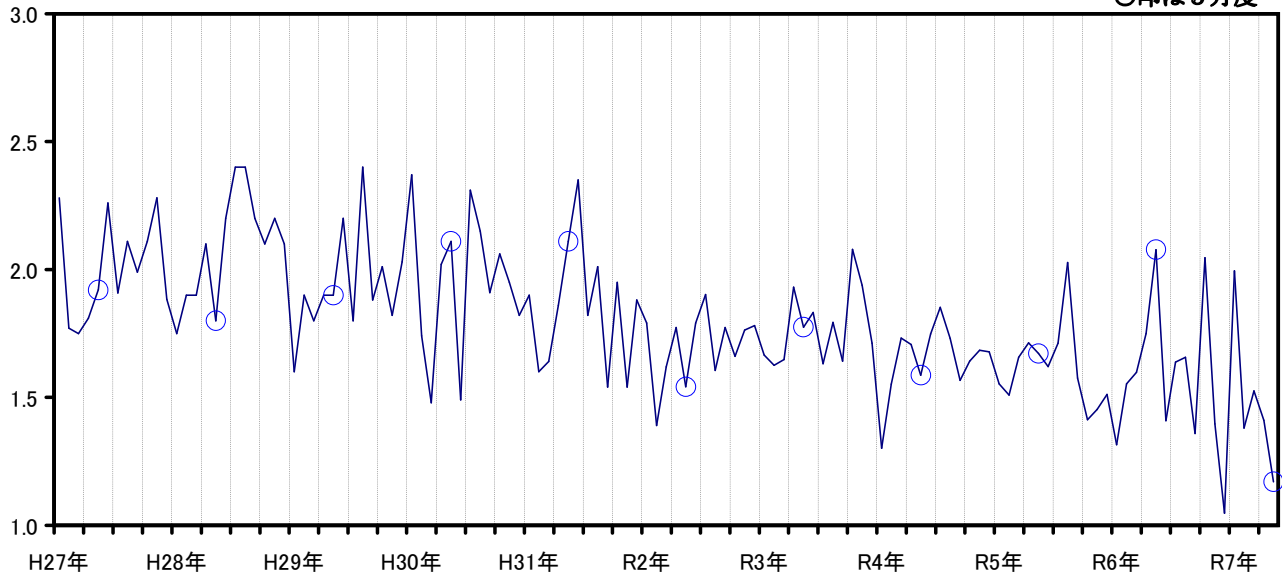
<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課

○印は5月度



3 公共工事請負金額

5 月 = 43,571百万円

* 前年同月比： 9.2%減

(建設保証会社保証実績)

<概 況>

5月の公共工事の請負金額（工事場所ベース）は43,571百万円で、前月同月比 9.2%減となり、3か月ぶりに前年実績を下回った。また、取扱い件数（工事場所ベース）は542件で、前年同月比19.1%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R 6年10月	1 1 月	1 2 月	R 7年1月	2 月	3 月	4 月	5 月
金 額 （ 百 万 円 ）	21,867	18,118	11,371	15,285	13,099	31,501	65,432	43,571
前 年 同 月 比 （ % ）	7.3	▲ 1.7	▲ 26.2	▲ 14.9	▲ 7.9	36.2	24.7	▲ 9.2
年度累計前年同月比（%）	6.9	6.3	4.5	3.3	2.7	5.1	24.7	8.5
件 数 （ 件 ）	707	509	412	261	192	540	445	542
前 年 同 月 比 （ % ）	▲ 2.3	▲ 17.4	▲ 9.6	▲ 5.8	0.0	33.3	▲ 19.2	▲ 19.1
年度累計前年同月比（%）	▲ 0.7	▲ 2.5	▲ 3.0	▲ 3.1	▲ 3.0	▲ 1.0	▲ 19.2	▲ 19.2

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

	R 6年10月	1 1 月	1 2 月	R 7年1月	2 月	3 月	4 月	5 月
国	▲ 45.9	53.5	92.3	▲ 27.7	▲ 6.8	48.7	▲ 32.8	▲ 22.3
独立行政法人等	423.3	282.6	▲ 68.8	36.0	-	▲ 74.2	▲ 32.1	▲ 34.7
県	3.4	▲ 33.2	▲ 28.7	13.2	▲ 33.8	77.1	▲ 2.0	▲ 13.0
市 町	15.7	▲ 8.6	▲ 26.1	▲ 38.1	12.3	18.2	23.2	7.2
地方公社	-	▲ 20.9	-	-	-	-	-	-
その他の	53.4	93.6	▲ 57.8	158.2	▲ 14.2	▲ 21.4	364.1	25.3

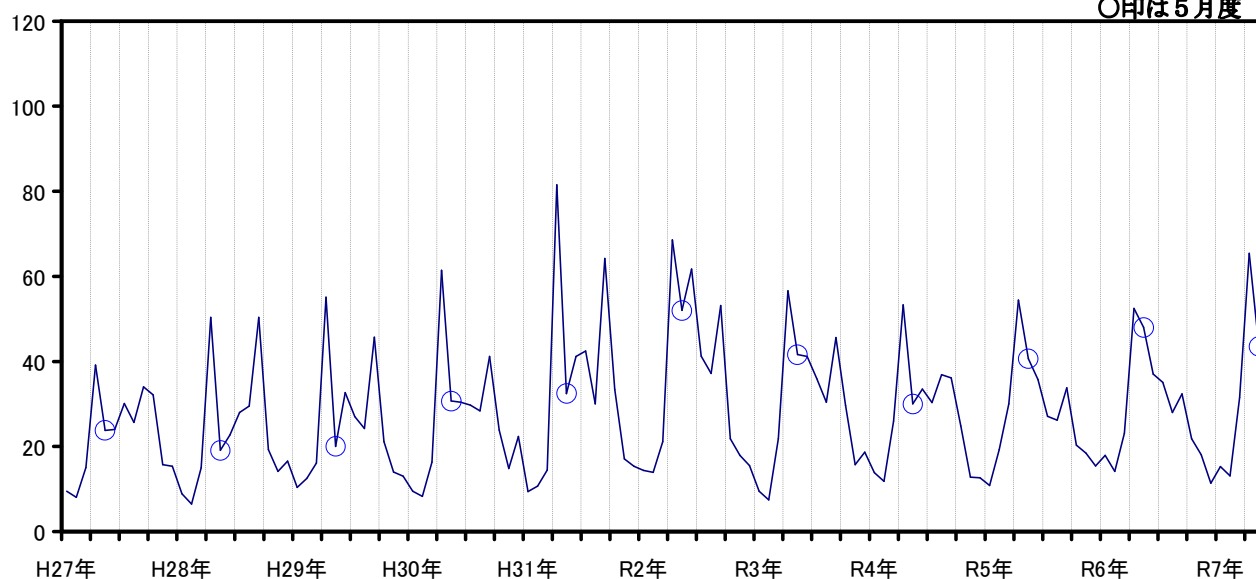
<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

○印は5月度



4 設備投資

<概 況>

令和6年度の設備投資（含む土地投資）、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加した。

令和7年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 42.2%増）、非製造業（同 3.4%増）、全産業（同 24.8%増）においていずれも増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 18.7%増）、非製造業（同 3.4%増）、全産業（同 15.4%増）においていずれも増加する計画となっている。

5月の着工建築物床面積（非居住用）は91,242㎡で、前年同月比 35.8%減となり、4か月連続で前年実績を下回った。

＜企業短期経済観測調査結果＞（前年度比％（ ）内は前回調査比修正率）

設備投資（含む土地投資）

ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		R6年度	R7年度 (計画)
全産業	県	(▲4.4) 7.2	24.8
	全国	(▲0.6) 7.5	6.7
製造業	県	(▲5.2) 11.5	42.2
	全国	(▲3.8) 7.3	12.4
非製造業	県	(▲3.3) 2.4	3.4
	全国	(1.3) 7.6	3.6

		R6年度	R7年度 (計画)
全産業	県	(▲1.0) 11.7	15.4
	全国	(▲1.4) 6.9	8.7
製造業	県	(0.1) 15.1	18.7
	全国	(▲2.8) 6.6	9.6
非製造業	県	(▲4.9) 0.8	3.4
	全国	(0.2) 7.1	7.7

(注1) 平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

(注2) 平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)」を追加

〈資料〉日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和7年6月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(令和7年6月調査)

＜最近の動き＞

	R 6 年10月	1 1 月	1 2 月	R 7 年1月	2 月	3 月	4 月	5 月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	128,072	62,220	54,072	161,859	69,348	43,226	86,908	91,242
前年同月比（％）	18.0	▲ 75.7	▲ 47.9	88.3	▲ 73.6	▲ 36.6	▲ 5.9	▲ 35.8
（参考）全国前年同月比（％）	▲ 27.3	▲ 0.6	▲ 14.3	▲ 23.9	2.5	7.5	0.9	22.8

(注3) 着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

〈資料〉国土交通省

＜参考 県内企業の業況判断D.I.＞

		R 7 年 3 月	R 7 年 6 月	R 7 年 9 月 (予測)
全 産 業		6	5	2
	製 造 業	▲ 4	▲ 7	▲ 6
	非 製 造 業	16	16	9
(参考) 全国 ・ 全産業		15	15	9

(注4) 業況判断D.I.:「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

〈資料〉 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和7年6月調査)」

5 輸出

5 月 = 183, 292百万円

* 前年同月比： 5.8%減

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

5月の清水税関支署管内の輸出総額は183,292百万円で、前年同月比 5.8%減となり、5か月連続で前年実績を下回った。
 主要な品目別にみると、自動車の部分品（前年同月比 4.7%増）が9か月ぶり、エアコン（同 47.1%増）が12か月連続、二輪自動車類（同 3.9%増）が4か月連続で前年実績を上回ったものの、原動機（同 8.6%減）が2か月ぶり、自動車（同 51.5%減）が5か月連続、科学光学機器（同 21.4%減）が10か月連続で前年実績を下回った。
 地域別にみると、アジア向け（同 0.1%減）が2か月ぶり、米国向け（同 9.5%減）が3か月連続、EU向け（同 22.9%減）が5か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R 6年10月	1 1 月	1 2 月	R 7年1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
輸 出 総 額（百 万 円）	212, 513	205, 783	242, 029	164, 049	219, 821	218, 345	222, 309	183, 292
前 年 同 月 比（%）	▲ 15.0	▲ 13.6	2.7	▲ 12.8	▲ 2.9	▲ 3.3	▲ 1.5	▲ 5.8
（参考）全国前年同月比（%）	3.1	3.8	2.8	7.2	11.4	3.9	2.0	▲ 1.7

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R 6年10月	1 1 月	1 2 月	R 7年1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
原 動 機	▲ 14.0	▲ 30.8	▲ 21.1	1.1	14.9	▲ 15.6	8.2	▲ 8.6
エ ア コ ン	34.7	42.5	185.3	192.4	152.2	212.4	61.8	47.1
自 動 車	▲ 27.8	▲ 37.2	52.3	▲ 54.2	▲ 33.0	▲ 50.5	▲ 18.9	▲ 51.5
自 動 車 の 部 分 品	▲ 28.4	▲ 28.8	▲ 10.2	▲ 6.5	▲ 11.8	▲ 10.8	▲ 6.3	4.7
二 輪 自 動 車 類	▲ 23.6	▲ 27.3	6.6	▲ 44.5	2.3	19.2	9.3	3.9
科 学 光 学 機 器	▲ 46.7	▲ 25.0	▲ 28.2	▲ 14.8	▲ 22.9	▲ 30.2	▲ 24.6	▲ 21.4

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R 6年10月	1 1 月	1 2 月	R 7年1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
ア ジ ア	▲ 5.8	▲ 1.5	▲ 2.2	6.0	5.0	▲ 1.7	0.8	▲ 0.1
米 国	▲ 17.2	▲ 7.5	▲ 11.8	▲ 11.0	0.8	▲ 5.9	▲ 2.0	▲ 9.5
E U	▲ 45.0	▲ 47.5	18.6	▲ 41.1	▲ 17.4	▲ 4.5	▲ 14.6	▲ 22.9

<資料>清水税関支署

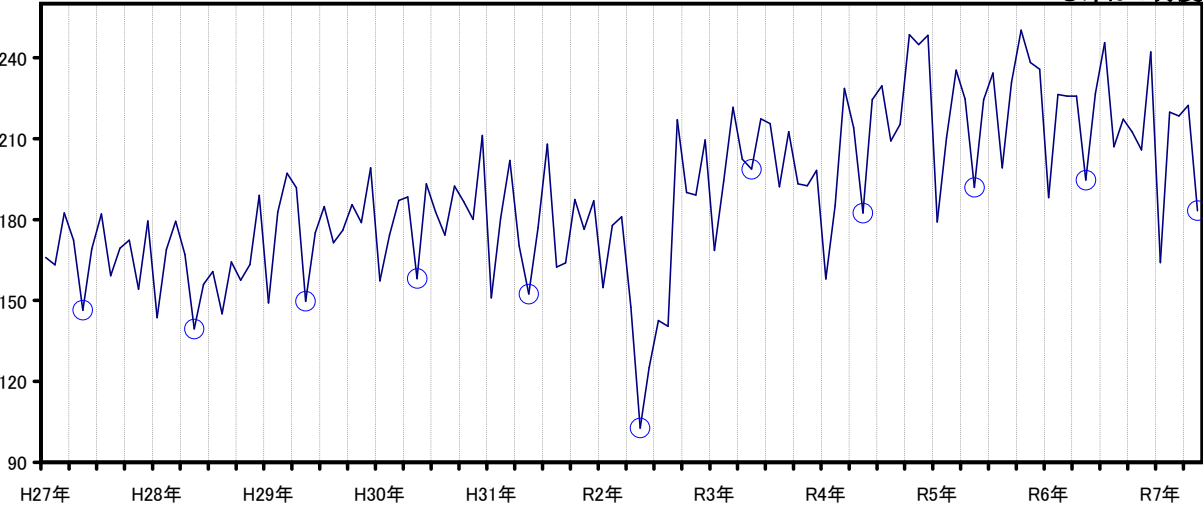
(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。
 なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署

○印は5月度



6 輸入

5 月 = 133,743百万円

* 前年同月比： 2.3%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概 況>

5月の清水税関支署管内の輸入総額は133,743百万円で、前年同月比 2.3%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。
 主要な品目別にみると、魚介類及び同調製品（前年同月比 4.5%減）が3か月ぶり、パルプ（同 5.7%減）、原動機（同 39.6%減）がいずれも2か月ぶり、自動車の部分品（同 17.1%減）が4か月連続で前年実績を下回ったものの、木材（同 29.3%増）が4か月ぶり、紙類及び同製品（同 2.2%増）が2か月ぶりに前年実績を上回った。
 地域別では、アジアから（同 8.0%増）が2か月ぶり、EUから（同 5.5%増）が4か月ぶりに前年実績を上回ったものの、米国から（同 31.3%減）が5か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R 6年10月	1 1 月	1 2 月	R 7年1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
輸 入 総 額（百 万 円）	113,396	104,878	120,797	140,016	100,909	117,149	120,799	133,743
前 年 同 月 比（%）	▲ 3.1	▲ 14.6	6.4	▲ 5.4	▲ 8.9	13.8	▲ 0.5	2.3

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R 6年10月	1 1 月	1 2 月	R 7年1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
魚 介 類 及 び 同 調 製 品	25.6	35.2	▲ 18.1	30.7	▲ 3.3	1.1	30.6	▲ 4.5
木 材	▲ 12.3	▲ 28.8	▲ 28.7	8.0	▲ 22.4	▲ 29.1	▲ 14.9	29.3
パ ル プ	39.7	20.0	56.7	55.7	30.3	▲ 1.3	8.0	▲ 5.7
紙 類 及 び 同 製 品	13.7	▲ 4.3	32.3	0.6	19.9	27.4	▲ 27.0	2.2
原 動 機	35.6	▲ 2.0	▲ 32.1	7.6	▲ 40.3	▲ 19.8	15.9	▲ 39.6
自 動 車 の 部 分 品	▲ 21.4	▲ 22.3	▲ 12.8	10.9	▲ 22.7	▲ 17.1	▲ 7.1	▲ 17.1

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

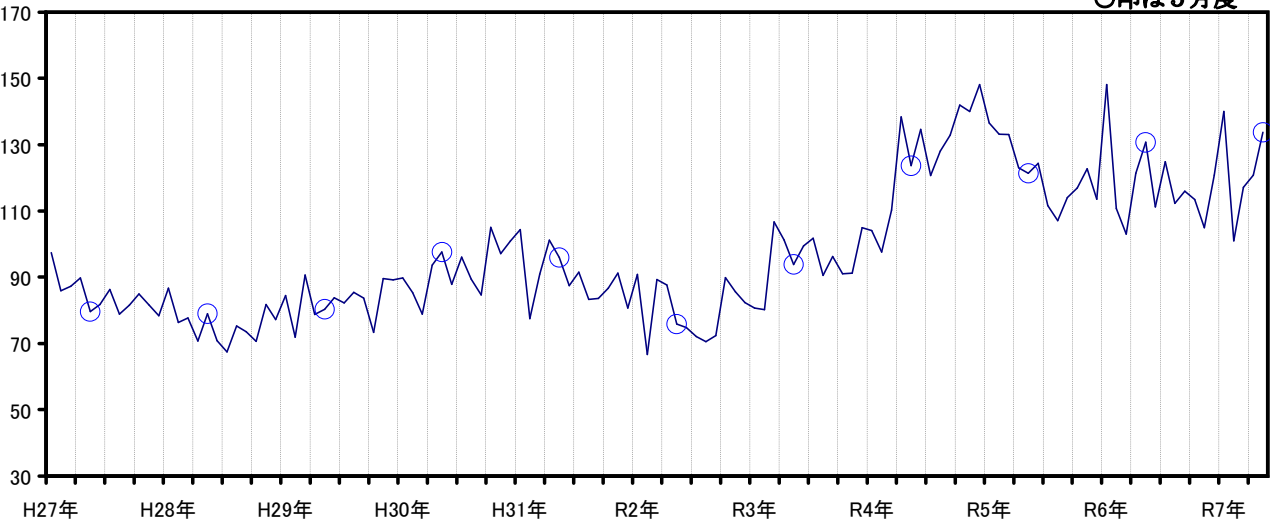
	R 6年10月	1 1 月	1 2 月	R 7年1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
ア ジ ア	▲ 1.8	▲ 20.3	▲ 0.7	9.3	▲ 12.3	26.5	▲ 0.7	8.0
米 国	▲ 30.4	▲ 38.2	5.0	▲ 75.5	▲ 33.2	▲ 16.7	▲ 38.5	▲ 31.3
E U	▲ 9.9	20.9	15.0	164.0	▲ 3.8	▲ 17.7	▲ 6.5	5.5

<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署
○印は5月度



生 産 面

1 生 産

(1) 鉱工業生産指数

5 月 = 101.0

(令和2年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 8.7%増

*前年同月比(原指数) : 4.0%減

<概 況>

5月の鉱工業生産指数(総合)は101.0(季節調整済指数)で、前月比は8.7%増と、2か月連続で増加した。また、前年同月比(原指数)は4.0%減と、4か月連続で前年水準を下回った。

業種別にみると、電気機械(前年同月比 14.8%増)が9か月連続で前年水準を上回ったものの、パルプ・紙・紙加工品(同 0.4%減)が3か月ぶり、はん用・生産用・業務用機械(同 1.9%減)が8か月連続、輸送機械(同 8.0%減)が4か月連続、化学(同 18.5%減)が5か月連続、食料品・たばこ(同 3.6%減)が2か月連続で前年水準を下回った。

<最近の動き>

	R 6 年10月	1 1 月	1 2 月	R 7 年1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
指 数	96.4	96.1	92.9	97.2	97.3	92.5	92.9	101.0
前 月 比 (%)	1.4	▲ 0.3	▲ 3.3	4.6	0.1	▲ 4.9	0.4	8.7
前 年 同 月 比 (%)	▲ 3.2	▲ 3.6	▲ 3.9	4.2	▲ 5.1	▲ 1.9	▲ 3.5	▲ 4.0
(参考)全国前年同月比(%)	0.8	▲ 3.3	▲ 2.2	2.2	0.1	1.0	0.5	▲ 2.4

(注)令和2年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位: %)

	R 6 年10月	1 1 月	1 2 月	R 7 年1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲ 4.7	▲ 19.1	▲ 18.2	▲ 0.9	▲ 31.3	▲ 14.6	▲ 23.5	▲ 1.9
電 気 機 械 工 業	10.6	5.7	11.6	26.4	17.0	34.1	30.7	14.8
輸 送 機 械 工 業	▲ 9.5	▲ 12.7	▲ 13.7	0.0	▲ 6.2	▲ 16.6	▲ 6.4	▲ 8.0
化 学 工 業	▲ 9.6	14.2	9.4	▲ 8.4	▲ 7.7	▲ 2.6	▲ 11.0	▲ 18.5
パルプ・紙・紙加工品工業	2.7	▲ 0.2	▲ 3.8	▲ 2.1	▲ 3.5	2.5	1.5	▲ 0.4
食料品・たばこ工業	▲ 1.1	1.2	▲ 6.5	4.7	▲ 2.9	2.2	▲ 15.6	▲ 3.6

(注)令和2年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

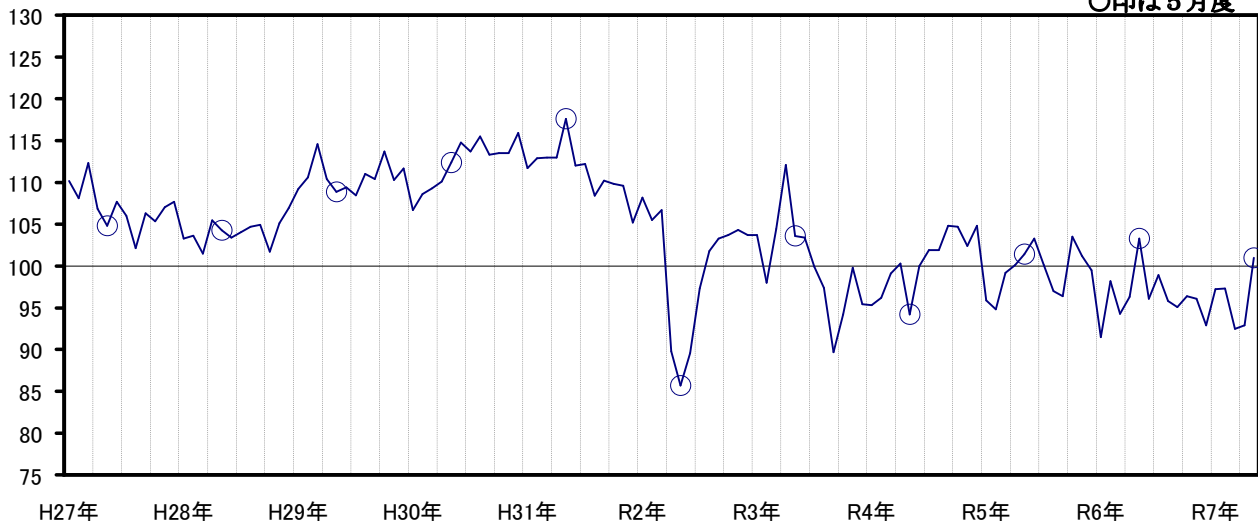
<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、令和2年=100)

<資料>県統計調査課

○印は5月度



(2) 鋳工業在庫指数

5 月 = 103.8

(令和 2 年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

* 前月比(季節調整済指数) : 0.3%増

* 前年同月比(原指数) : 2.8%減

<概 況>

5 月の鋳工業在庫指数 (総合) は103.8 (季節調整済指数) で、前月比は0.3%増と、2 か月ぶりに増加した。また、前年同月比 (原指数) は2.8%減と、7 か月連続で前年水準を下回った。

なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今期は「在庫調整局面 (景気後退期)」に該当する。

業種別にみると、化学 (前年同月比 0.4%増) が7 か月連続、パルプ・紙・紙加工品 (同 11.0%増) が12か月連続、食料品・たばこ (同 3.4%増) が3 か月連続で前年水準を上回ったものの、電気機械 (同 7.1%減) が3 か月ぶり、はん用・生産用・業務用機械 (同 5.5%減) が7 か月連続、輸送機械 (同 17.3%減) が2 か月連続で前年水準を下回った。

<最近の動き>

	R 6 年10月	1 1 月	1 2 月	R 7 年1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
指 数	104.4	105.2	98.8	99.8	102.7	105.7	103.5	103.8
前 月 比 (%)	1.7	0.8	▲ 6.1	1.0	2.9	2.9	▲ 2.1	0.3
前 年 同 月 比 (%)	0.4	▲ 0.1	▲ 6.0	▲ 2.7	▲ 1.8	▲ 0.1	▲ 2.5	▲ 2.8
(参考) 全国前年同月比 (%)	▲ 1.0	▲ 2.0	▲ 1.9	0.6	▲ 1.4	▲ 0.7	▲ 1.1	▲ 3.1

(注) 令和 2 年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位: %)

	R 6 年10月	1 1 月	1 2 月	R 7 年1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
はん用・生産用・業務用機械工業	1.2	▲ 0.3	▲ 7.6	▲ 8.4	▲ 12.3	▲ 8.5	▲ 9.7	▲ 5.5
電 気 機 械 工 業	▲ 7.1	▲ 10.7	▲ 10.8	▲ 7.6	▲ 6.5	3.2	0.1	▲ 7.1
輸 送 機 械 工 業	▲ 3.0	▲ 4.8	▲ 29.1	▲ 10.6	7.8	0.5	▲ 13.3	▲ 17.3
化 学 工 業	▲ 0.6	6.4	4.7	4.5	0.7	2.5	1.6	0.4
パ ル プ ・ 紙 ・ 紙 加 工 品 工 業	6.2	6.3	4.5	2.0	0.8	5.4	7.7	11.0
食 料 品 ・ た ば こ 工 業	10.1	6.5	8.5	5.1	▲ 0.8	0.8	3.0	3.4

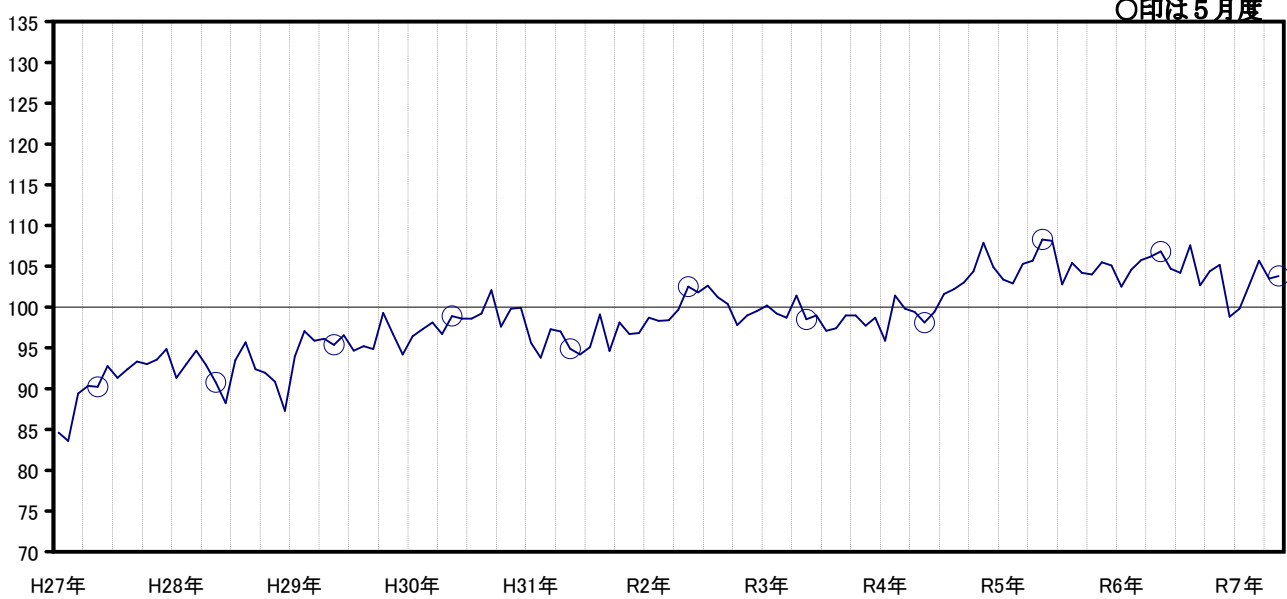
(注) 令和 2 年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、令和 2 年=100)

<資料>県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

5 月 = 1.08倍

*前月比（季節調整値）： 0.02ポイント減

（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）

<概 況>

5月の有効求人倍率（受理地別、季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）は1.08倍となり、前月を0.02ポイント下回った。52か月連続で1倍台となった。また、全国値を0.16ポイント下回った。新規求人（学卒、パートタイムを除く）（前年同月比 4.1%減）は2か月ぶりに前年実績を下回った。

産業別にみると、製造業（前年同月比 8.0%増）が7か月ぶり、サービス業（他に分類されないもの）（同 7.6%増）が2か月連続で前年実績を上回ったものの、運輸業・郵便業（同 11.6%減）、卸売業・小売業（同 21.9%減）がいずれも2か月ぶり、建設業（同 4.4%減）が7か月連続、情報通信業（同 31.3%減）が4か月連続、医療・福祉（同 4.3%減）が2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

（単位：倍）

	R 6年10月	1 1 月	1 2 月	R 7年1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
県（受理地別）	1.11	1.09	1.08	1.10	1.09	1.09	1.10	1.08
（参考）県（就業地別）	1.26	1.24	1.22	1.25	1.24	1.24	1.23	1.23
全 国	1.25	1.25	1.25	1.26	1.24	1.26	1.26	1.24

（注）季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<産業別新規求人前年同月比の推移>

（単位：%）

	R 6年10月	1 1 月	1 2 月	R 7年1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
建 設 業	13.7	▲ 9.5	▲ 12.8	▲ 3.5	▲ 5.0	▲ 6.0	▲ 3.6	▲ 4.4
製 造 業	12.7	▲ 10.1	▲ 14.2	▲ 4.2	▲ 0.6	▲ 9.5	▲ 7.0	8.0
情 報 通 信 業	13.7	0.6	▲ 26.6	26.0	▲ 13.4	▲ 20.7	▲ 37.8	▲ 31.3
運 輸 業 ・ 郵 便 業	7.7	▲ 13.5	▲ 4.9	21.9	▲ 19.7	▲ 6.0	20.3	▲ 11.6
卸 売 業 ・ 小 売 業	▲ 27.9	45.5	▲ 41.8	▲ 31.8	34.0	▲ 16.5	55.9	▲ 21.9
医 療 ・ 福 祉	▲ 5.1	▲ 3.9	▲ 4.7	3.8	▲ 2.3	0.1	▲ 0.2	▲ 4.3
サービス業（他に分類されないもの）	3.3	▲ 9.9	▲ 13.0	4.7	▲ 6.5	▲ 10.2	2.5	7.6
合 計	▲ 0.5	0.2	▲ 13.6	▲ 4.4	▲ 1.6	▲ 7.8	4.6	▲ 4.1

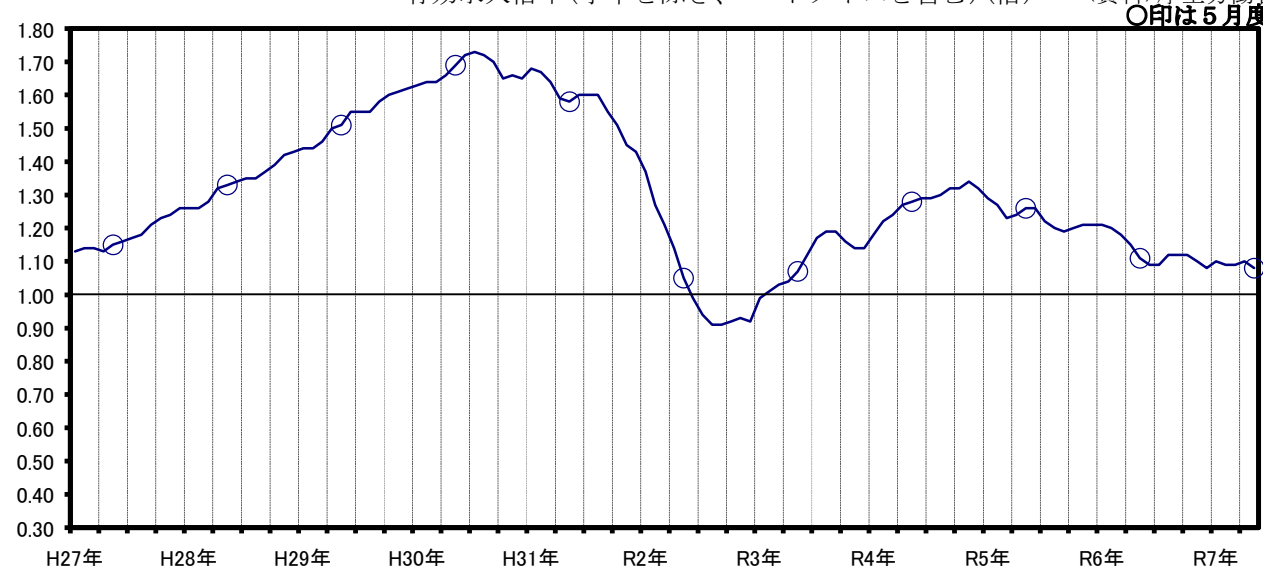
（注）学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率（学卒を除き、パートタイムを含む）（倍）

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

5 月 = 12,059人

*前 月 比: 7.5%増

*前年同月比: 0.8%減

<概 況>

5月の雇用保険受給者実人員は12,059人で、前月比は7.5%増と、10か月ぶりに前月を上回った。また、前年同月比は0.8%減と26か月ぶりに前年実績を下回った。

完全失業率（全国）は2.5%と前月と同水準だった。

静岡県（令和7年1～3月）の完全失業率は2.3%で、前期（令和6年10～12月）から0.3ポイント悪化した。

<最近の動き>

	R 6年10月	1 1 月	1 2 月	R 7年1月	2 月	3 月	4 月	5 月
実 人 員 (人)	13,146	12,297	12,282	12,029	11,522	11,216	11,217	12,059
前 月 比 (%)	▲ 0.3	▲ 6.5	▲ 0.1	▲ 2.1	▲ 4.2	▲ 2.7	0.0	7.5
前 年 同 月 比 (%)	2.6	2.4	5.9	4.9	3.2	5.9	0.2	▲ 0.8
(参考)全国前年同月比 (%)	▲ 0.5	▲ 2.7	2.0	0.8	▲ 0.7	0.9	▲ 2.5	▲ 2.3

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率（全国）の推移>

	R 6年10月	1 1 月	1 2 月	R 7年1月	2 月	3 月	4 月	5 月
完全失業率(全国) (%)	2.5	2.5	2.5	2.5	2.4	2.5	2.5	2.5

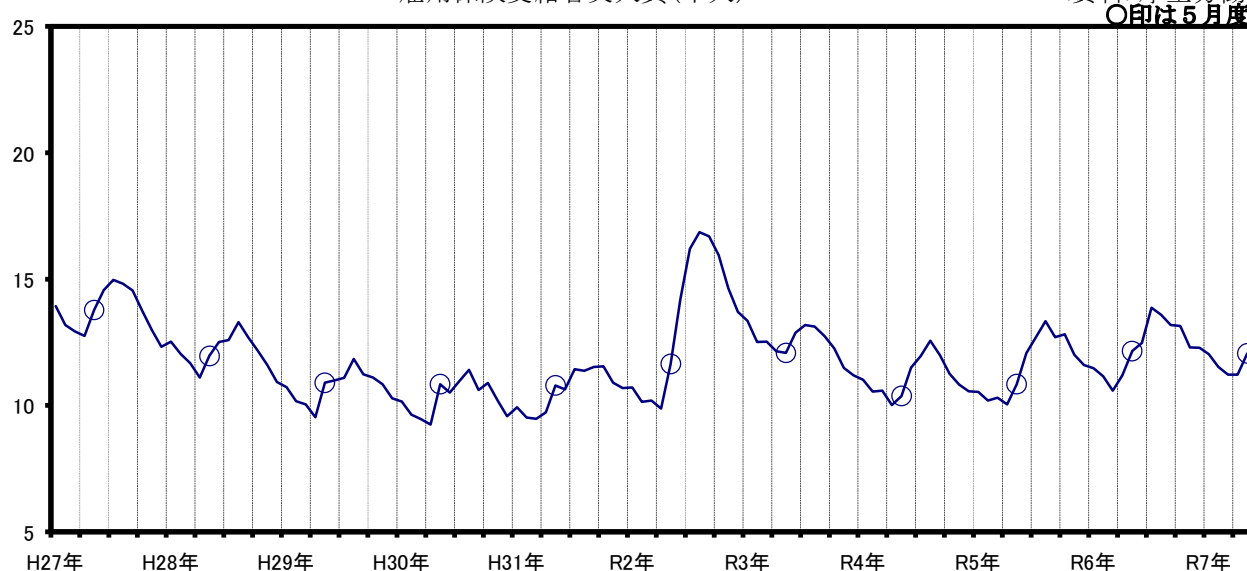
(注) 季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



(3) 所定外労働時間指数

4 月 = 122.1

* 前月比(季節調整済指数): 4.1%増

(令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) * 前年同月比(原指数) : 4.4%減

<概況>

4月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は122.1(季節調整済指数)で、2か月ぶりに前月を上回った。また、前年同月比(原指数)は4.4%減と、2か月ぶりに前年実績を下回った。

業種別にみると、その他のサービス業(前年同月比2.7%増)が4か月ぶり、情報通信業(同2.3%増)、運輸業・郵便業(同14.7%増)がいずれも3か月連続で前年実績を上回ったものの、建設業(同13.1%減)が5か月連続、製造業(同7.5%減)、卸売業・小売業(同20.9%減)がいずれも8か月連続、医療・福祉(同3.0%減)が2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R6年9月	10月	11月	12月	R7年1月	2月	3月	4月
指数	125.9	119.1	129.3	120.1	113.8	119.7	117.3	122.1
前月比(%)	4.4	▲5.4	8.6	▲7.1	▲5.2	5.2	▲2.0	4.1
前年同月比(%)	4.8	▲1.5	9.5	3.2	▲9.2	▲0.8	0.0	▲4.4
(参考)全国前年同月比(%)	▲4.1	▲2.3	▲1.7	▲3.3	▲0.9	▲2.5	▲3.3	▲1.7

*令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位: %)

	R6年9月	10月	11月	12月	R7年1月	2月	3月	4月
建設業	31.4	▲11.7	11.7	▲2.7	▲36.7	▲39.3	▲2.2	▲13.1
製造業	▲1.3	▲3.1	▲2.5	▲2.5	▲9.1	▲6.7	▲4.9	▲7.5
情報通信業	▲60.8	▲31.7	▲39.4	▲37.1	▲8.0	19.9	4.3	2.3
運輸業・郵便業	▲16.5	▲18.5	▲14.9	▲20.3	▲0.5	23.7	16.6	14.7
卸売業・小売業	▲6.0	▲8.0	▲14.7	▲22.0	▲2.7	▲9.5	▲4.5	▲20.9
医療・福祉	▲20.4	▲15.5	▲14.5	▲9.0	5.1	4.9	▲11.8	▲3.0
その他のサービス業	18.5	26.8	58.3	40.3	▲19.9	▲1.3	▲7.5	2.7
調査産業計	4.8	▲1.5	9.5	3.2	▲9.2	▲0.8	0.0	▲4.4

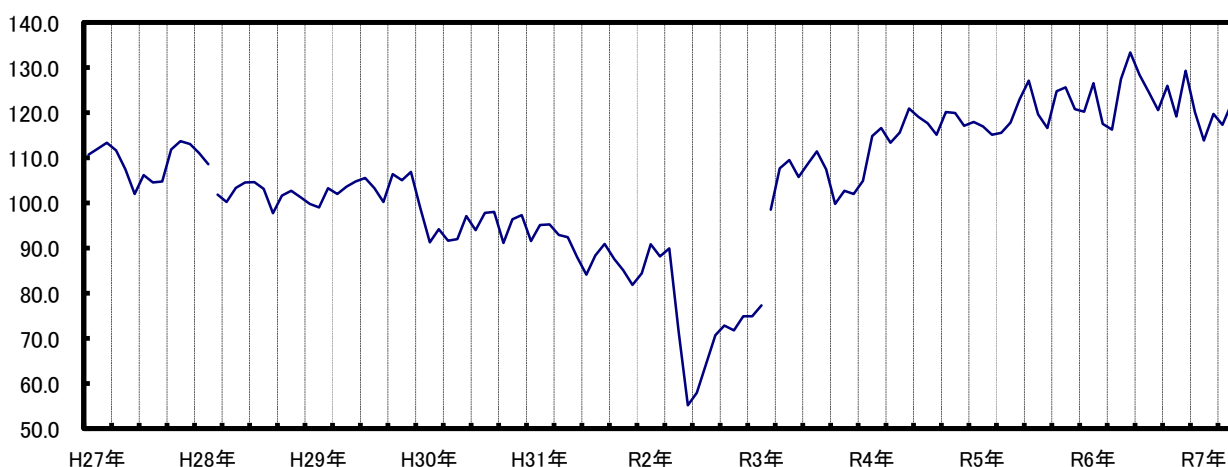
*令和2年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、令和2年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

(令和2年=100)

6 月 = 126.2

*前 月 比: 0.2%下落

*前年同月比: 2.9%上昇

<概 況>

6月の国内企業物価指数は126.2となり、前月比は0.2%の下降となった。また、前年同月比は2.9%の上昇となった。

	R 6 年11月	1 2 月	R 7 年1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
国内企業物価指数	124.4	125.0	125.3	125.7	126.1	126.5	126.4	126.2
前 月 比 (%)	0.3	0.5	0.2	0.3	0.3	0.3	▲ 0.1	▲ 0.2
前年同月比 (%)	3.8	4.0	4.2	4.3	4.3	4.1	3.3	2.9

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

(銀行、信用金庫)

5 月 = 145,233億円

*前 月 比: 1.3%増

*前年同月比: 2.0%増

<概 況>

5月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は145,233億円で、前月比とは1.3%の増加となった。また、前年同月比は2.0%の増加となった。

	R 6 年10月	1 1 月	1 2 月	R 7 年1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
貸出残高(億円)	142,622	143,425	144,158	143,689	143,648	144,009	143,374	145,233
前 月 比 (%)	▲ 0.6	0.6	0.5	▲ 0.3	0.0	0.3	▲ 0.4	1.3
前年同月比 (%)	0.4	0.8	0.5	1.0	0.9	0.2	1.0	2.0

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

(県内地銀4行総平均)

5 月 = 1.485%

*前 月 差: 0.002ポイント増

*前年同月差: 0.213ポイント増

<概 況>

5月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.485%で、前月から0.002ポイントのプラスとなった。なお、前年同月差は0.213ポイントのプラスとなった。

	R 6 年10月	1 1 月	1 2 月	R 7 年1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
貸出約定金利(%)	1.321	1.324	1.367	1.384	1.398	1.435	1.483	1.485
前月差(ポイント)	0.018	0.003	0.043	0.017	0.014	0.037	0.037	0.002
前年同月差(ポイント)	0.056	0.064	0.113	0.130	0.145	0.179	0.179	0.213

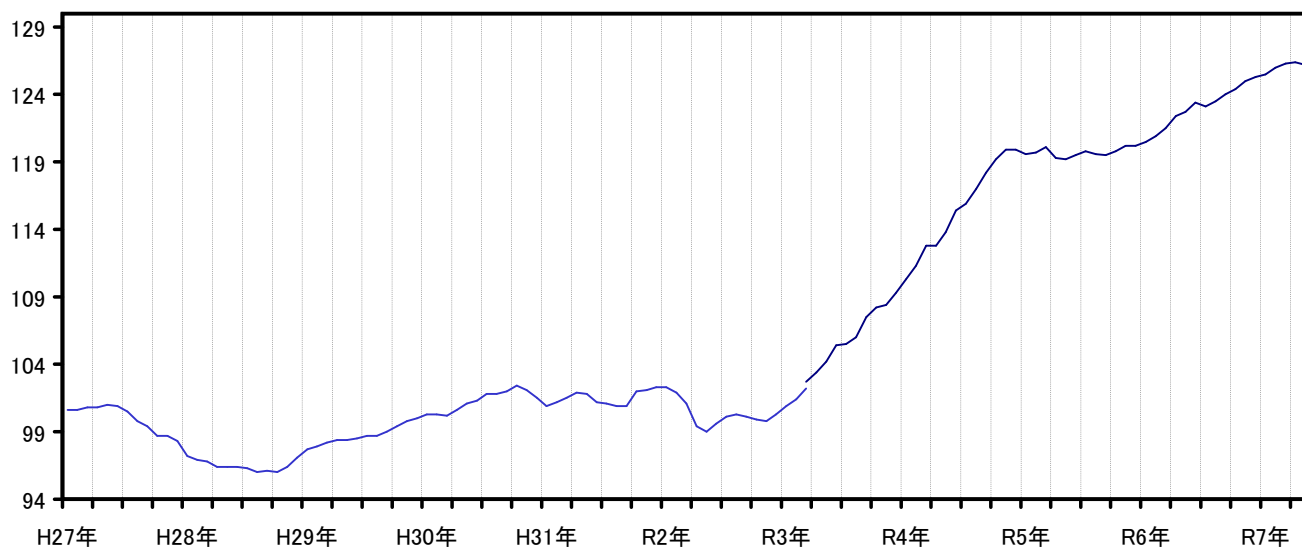
(注) 貸出約定金利は、金融庁報告ベースに過去に遡及して変更

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

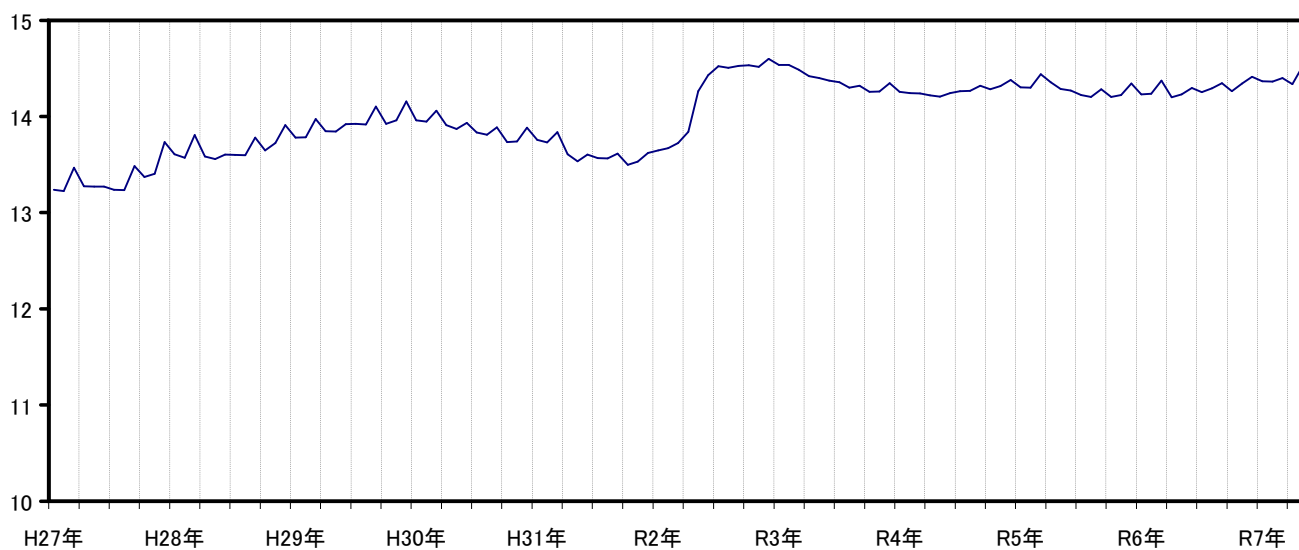
国内企業物価指数(令和2年=100)

<資料>日本銀行



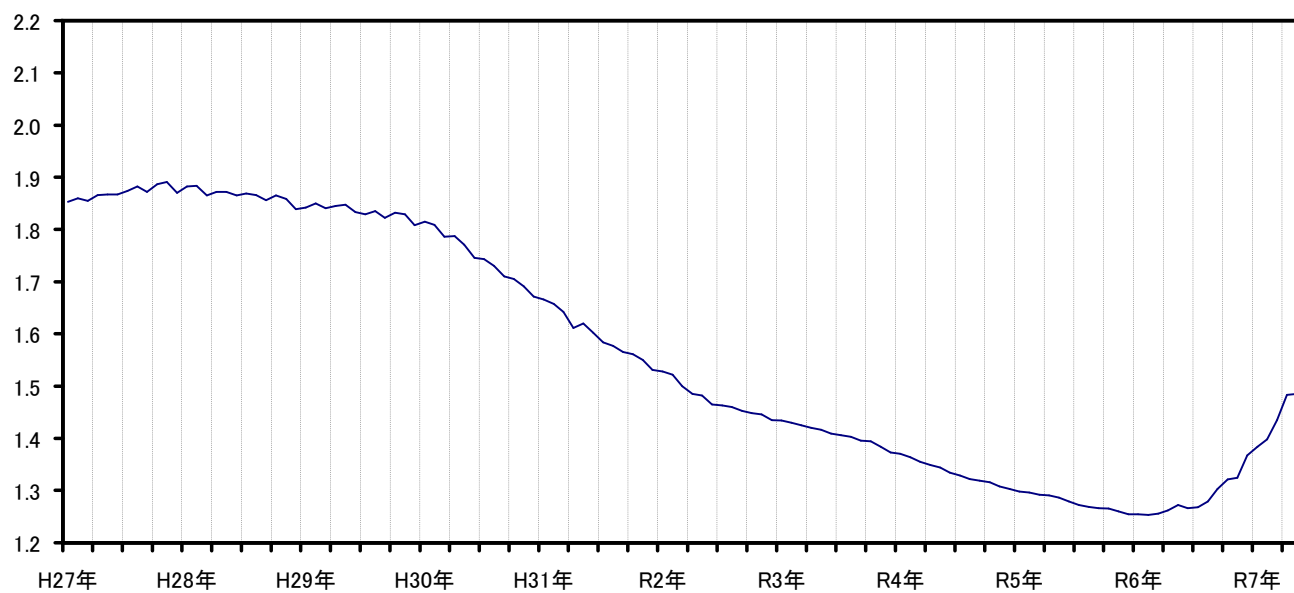
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額

5 月 = 32,981百万円

*前年同月比： 52.2%増

<概 況>

5月の保証承諾は、金額は32,981百万円（前年同月比 52.2%増）、件数は2,030件（同 18.6%増）と、いずれも前年実績を上回った。

	R 6 年10月	11月	12月	R 7 年1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
保 証 金 額（百万円）	12,710	14,589	17,220	11,797	12,702	28,519	28,272	32,981
前 年 同 月 比（%）	▲ 42.5	▲ 43.0	▲ 45.8	▲ 44.5	▲ 47.7	▲ 27.2	73.9	52.2
保 証 件 数（件）	1,296	1,373	1,444	1,190	1,270	2,183	1,810	2,030
前 年 同 月 比（%）	▲ 22.4	▲ 22.1	▲ 35.5	▲ 22.5	▲ 29.2	▲ 14.8	32.2	18.6

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場

6 月 = 144.50円/ドル

*前 月 差： 0.25円高

（東京・銀行間直物中心・平均）

*前年同月差： 13.32円高

<概 況>

6月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は144.50円で、前月と比べて 0.25円の円高となり、2か月ぶりに円高となった。

<最近の動き>

▲…円高

	R 6 年11月	1 2 月	R 7 年1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
平 均 相 場（円）	153.72	153.72	156.49	151.96	149.18	144.39	144.75	144.50
前 月 差（円）	4.09	0.00	2.77	▲ 4.53	▲ 2.78	▲ 4.79	0.36	▲ 0.25
前 年 同 月 差（円）	3.89	9.65	9.92	2.54	▲ 0.45	▲ 9.04	▲ 11.38	▲ 13.32

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営

企業倒産件数

5 月 = 17件

*前年同月比： 22.7%減

<概 況>

5月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産は、件数は17件（前年同月比 22.7%減）と前年実績を下回り、負債総額は 1,653百万円（同 84.1%減）と前年実績を下回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が14件と全体の82.4%を占め、25か月連続で50%以上となっている。

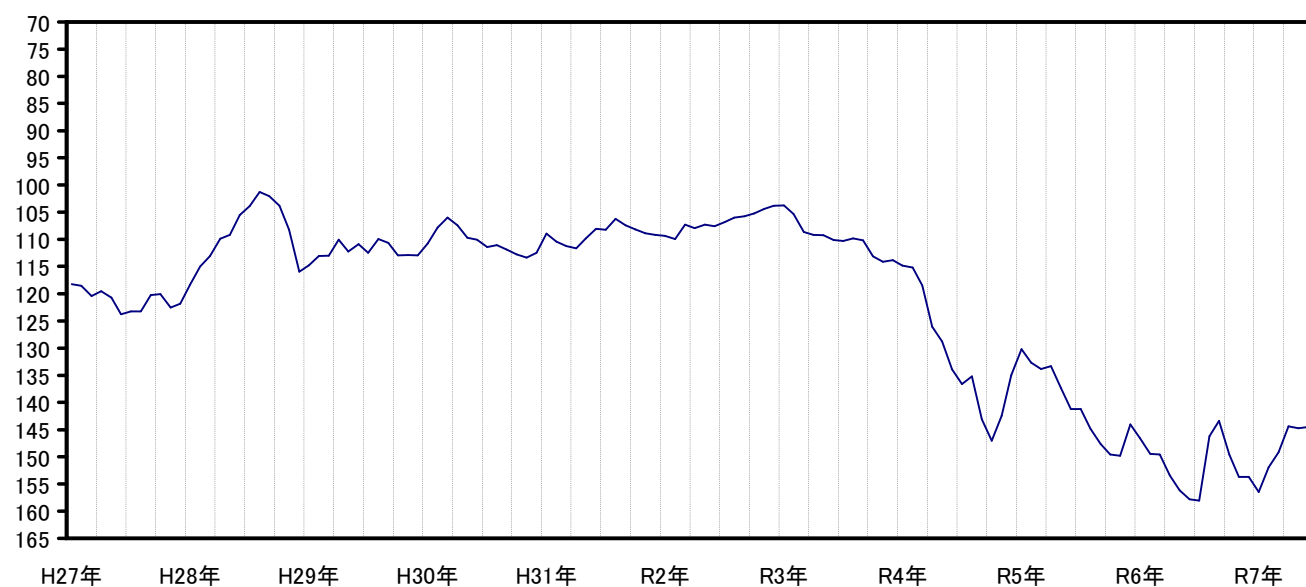
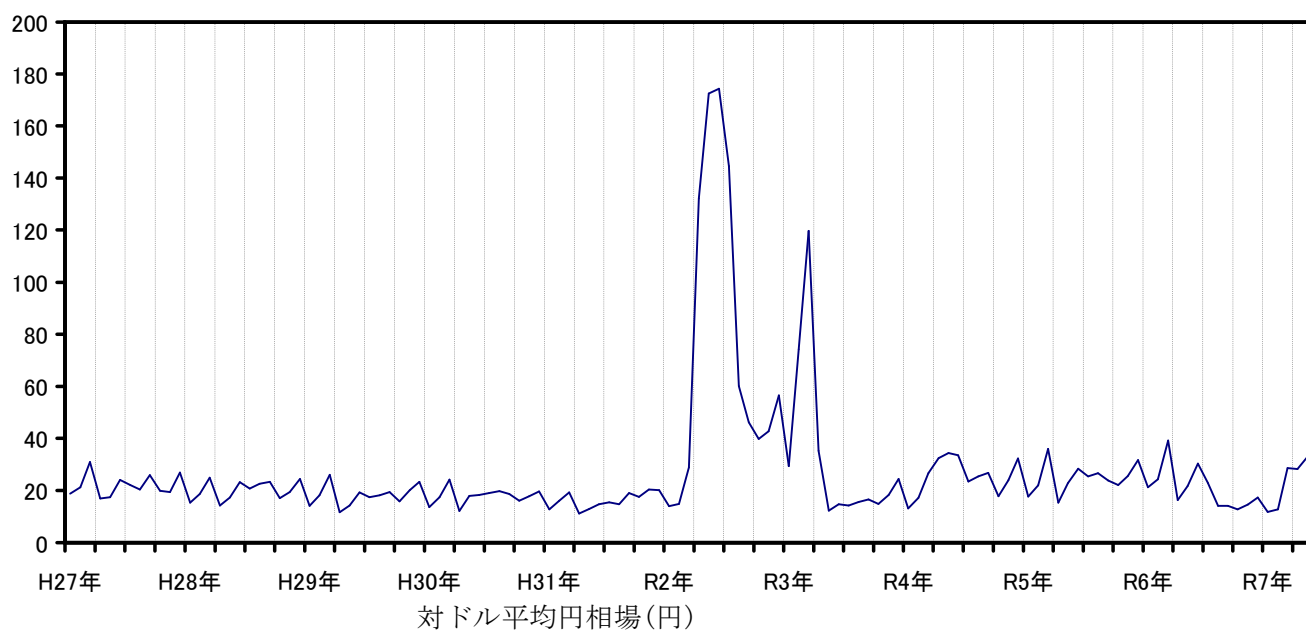
	R 6 年10月	1 1 月	1 2 月	R 7 年1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
倒 産 件 数（件）	29	13	17	19	18	26	14	17
前 年 同 月 比（%）	70.5	▲ 31.5	▲ 10.5	26.6	100.0	44.4	▲ 36.4	▲ 22.7
うち不況型倒産件数(件)	22	12	15	15	17	23	13	14
負 債 総 額（百万円）	4,255	1,354	1,530	2,011	2,450	4,227	1,595	1,653
前 年 同 月 比（%）	▲ 35.4	▲ 53.0	▲ 25.8	64.9	147.4	▲ 8.8	▲ 32.4	▲ 84.1

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社

<過去10年間の推移>

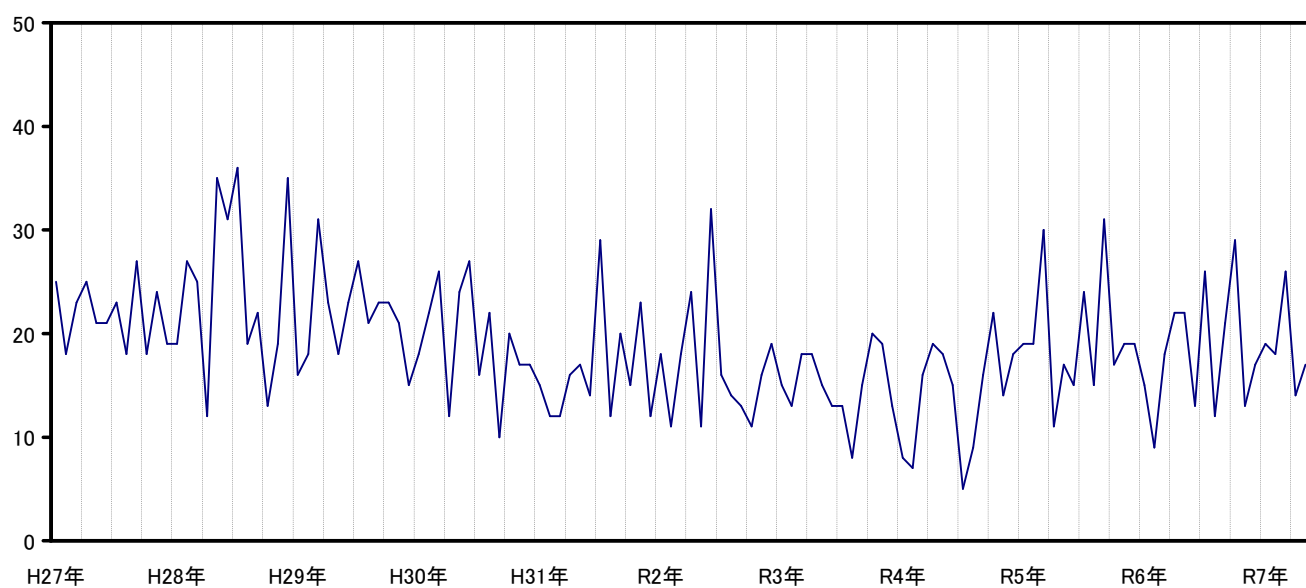
信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



企業倒産件数(件)

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 令和7年5月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	4月の国内二輪車生産台数は、56,066台（前年同月比11.6%増）で、7か月連続で前年実績を上回った。原付第一種（50cc以下）は、12,786台（同37.6%増）で、10か月連続で前年実績を上回った。原付第二種（51cc～125cc）は、1,690台（同60.3%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、3,856台（同3.8%減）で6か月連続で前年実績を下回った。小型二輪車（251cc以上）は、37,734台（同8.1%増）で、4か月連続で前年実績を上回った。 出荷台数は、国内向けは、29,760台（同5.3%増）で、16か月ぶりに前年実績を上回った。輸出向けは、45,979台（同3.3%増）で、3か月連続で前年実績を上回った。 ＜資料＞日本自動車工業会
自 動 車	4月の自動車国内生産台数は、668,785台（前年同月比 3.5%増）と、4か月連続で前年実績を上回った。輸出は301,456台（同 17.4%減）と、4か月ぶりに前年実績を下回った。 国内生産は、トラック、乗用車がいずれも4か月連続で前年実績を上回ったことから、全体でも4か月連続で前年実績を上回った。 ＜資料＞日本自動車工業会
電気機械	5月の冷蔵庫の国内出荷額は263億円（前年同月比0.3%増）で、2か月連続で前年実績を上回り、国内出荷台数も229千台（同2.5%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。 5月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは1,046千台（同6.1%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。業務用は69千台（同3.6%増）で、5か月連続で前年実績を上回った。 5月の携帯電話の国内出荷台数は、343千台（同22.7%増）で、2か月ぶりに前年実績を上回った。うち、スマートフォンは、298千台（同 44.2%増）で、2か月ぶりに前年実績を上回った。単月のスマートフォン比率は 86.9%であった。 ＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J
生産用機械	5月の工作機械の受注総額は、1,287億1,800万円（前年同月比3.4%増）で、8か月連続で前年実績を上回った。 内訳をみると、外需は957億200万円（同 6.7%増）で、8か月連続で前年実績を上回った。アジア向けが451億6,700万円（同6.0%増）で、14か月連続で前年実績を上回った。内需は330億1,600万円（同5.2%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。 ＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会

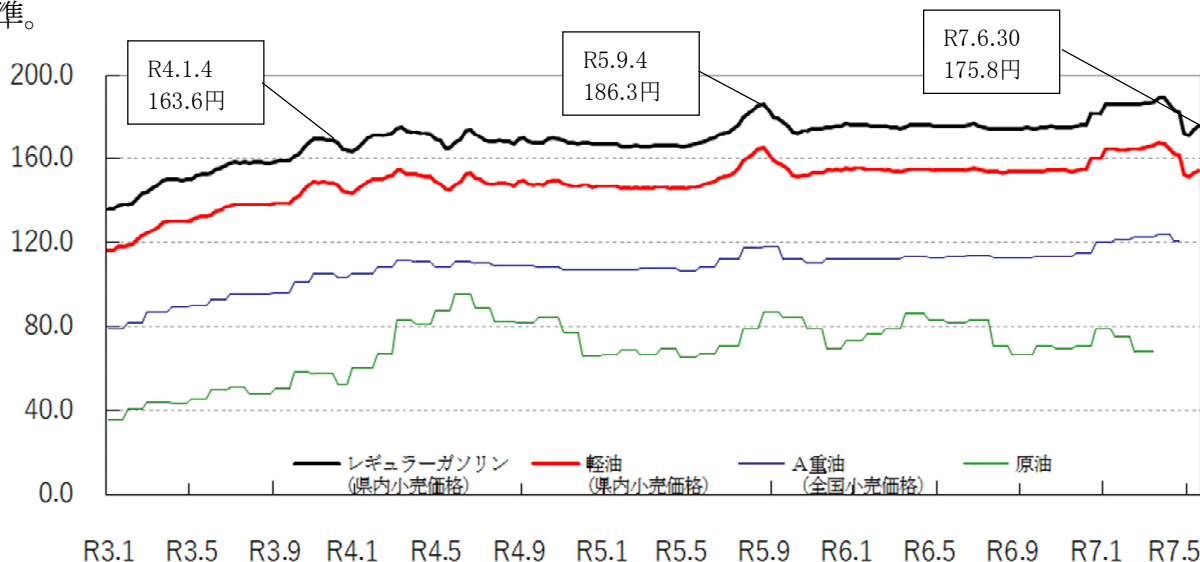
業 種	産 業 動 向
楽 器	5月の県内楽器メーカーの販売金額は、56億5,902万円（前年同月比 6.9%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。内訳は輸出向けが35億3,104万円（同 12.2%減）で、9か月連続で前年実績を下回った。国内向けが21億2,798万円（同3.6%増）で、3か月連続で前年実績を上回った。 ピアノ生産台数は1,917台（同19.5%減）で、23か月連続で前年実績を下回った。機種別では、アップライトピアノが1,059台（同 21.1%減）、グランドピアノが858台（同17.4%減）であった。また、販売台数は、輸出向けが1,335台（同 24.7%減）で、23か月連続で前年実績を下回り、国内向けが741台（同 21.2%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。 ＜資料＞静岡県楽器製造協会
紙	5月の紙・板紙の国内出荷高は、1,572千トン（前年同月比 2.5%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。内訳は、紙は720千トン（同 2.6%減）で、7か月連続で前年実績を下回った。板紙は852千トン（同2.4%減）と、4か月連続で前年実績を下回った。 品種別では、主力の印刷・情報用紙が、365千トン（同 2.1%減）で、7か月連続で前年実績を下回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、148千トン（1.1%増）と、4か月ぶりに前年実績を上回った。 ＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」
缶詰・飲料	5月の県内生産量は、食缶類（国内向け）が924千箱（前年同月比0.1%減）で3か月ぶりに前年実績を下回った。 分類別でみると、水産缶（国内向け）が682千箱（同0.5%減）で3か月ぶりに前年実績を下回った。うち主力であるツナ缶は453千箱（同0.9%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。 農畜産缶（国内向け）は242千箱（同1.2%増）で2か月連続で前年実績を上回った。 飲料缶類（国内向け）は、6,688千箱（同9.2%減）で、7か月連続で前年実績を下回った。 ＜資料＞静岡缶詰協会
織 維	5月の広幅織物の県内生産は、621千㎡（前年同月比 17.2%減）で、7か月連続で前年実績を下回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、583千㎡（同 16.0%減）で、7か月連続で前年実績を下回った。別珍・コールテンの生産は、38千㎡（同32.4%減）で、3か月ぶりに前年実績を下回った。 小幅織物の県内生産は、16千㎡（同 3.0%減）で、5か月連続で前年実績を下回った。 ＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合
家 具	5月の全国百貨店での家具販売額は、36億2,314万円（前年同月比1.8%減）と2か月連続で前年実績を下回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、615億2,630万円（同2.9%増）と5ヶ月ぶりに前年実績を上回った。 ＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会

業 種	産 業 動 向
小 売 業	5月の県内百貨店・スーパーの販売額は、39,155百万円（既存店前年同月比4.4%増）と前年同月の実績を上回った。品目別に見ると、衣料品、身の回り品、家庭用品及び食堂・喫茶で前年同月の実績を下回ったが、飲食料品及びその他の商品の売上げが前年同月と比較して増加した。 中部の百貨店への聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数が減少した。特に、衣料品、家庭用品及び食料品の売上げが不調だった。 西部の専門店への聞き取りによると、前年同月と比較して来客数及び売上げが増加した。ゴールデンウィークに学生や家族連れの来店が多かったことや、新規出店店舗が開店したことにより、売上げが好調だった。 県内の食品スーパーへの聞き取りによると、前年同月と比較して売上げが増加したが、来客数は同程度であった。物価高騰の影響により、客単価が高くなり、売上げが増加した。 中部の総合スーパーへの聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数が増加した。近隣の総合スーパーが閉店した影響で、来客数が増加した。また、店舗の入れ替えにより、衣料品の売上げが好調だった。 ＜資料＞関東経済産業局、静岡県地域産業課
観 光	令和7年5月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約51万人で、前年同月比34.6%減となった。 主な要因は、昨年、浜名湖花博2024の開催により好調だった周辺施設の入込客数が減少したことや、ゴールデンウィークが飛び石連休だったこと等による。 主要有料道路（4路線）の合計通行車両数は、約60万台となり、前年同月比14.4%減となった。 ＜資料＞静岡県観光政策課

＜原油高の状況について＞

新型コロナウイルス感染症からの経済活動再開に伴う需要増大や、海外情勢の不安定化などにより原油価格が上昇。

足もとの県内ガソリン等小売価格は、レギュラー175.8円/Lと、平成20年8月以来の高水準。



Ⅳ データからみた県内主要産業

<二輪車>

	R 6年9月	10月	11月	12月	R 7年1月	2月	3月	4月	5月
完成車生産台数（台）	23,502	27,598	29,175	20,007	22,378	24,615	25,562	22,957	22,521
前年同月比（%）	25.7	▲ 2.4	0.8	▲ 19.5	▲ 1.6	0.0	2.4	▲ 9.2	4.0
KD輸出額（百万円）	604	733	672	1,763	2,311	2,376	2,342	2,276	1,962
前年同月比（%）	▲ 30.9	▲ 44.5	▲ 53.4	3.4	100.4	72.6	102.1	106.4	199.3

<楽 器>

	R 6年9月	10月	11月	12月	R 7年1月	2月	3月	4月	5月
生産総額（百万円）	2,960	3,404	3,091	2,851	2,724	2,749	2,895	3,736	3,338
前年同月比（%）	▲ 15.1	▲ 5.8	▲ 11.9	▲ 23.3	▲ 6.5	▲ 22.5	▲ 19.0	7.7	▲ 4.7

<缶 詰>

	R 6年9月	10月	11月	12月	R 7年1月	2月	3月	4月	5月
食缶生産高（千ケース）	965	1,056	1,031	968	915	876	895	965	924
前年同月比（%）	0.3	12.4	0.8	4.0	7.1	▲ 3.7	1.7	3.5	▲ 0.1
うち水産缶詰（%）	8.0	15.9	4.5	6.8	12.2	▲ 6.0	5.4	2.7	▲ 0.5
農畜産缶詰（%）	▲ 17.3	3.9	▲ 8.2	▲ 2.8	▲ 6.1	3.0	▲ 8.6	5.7	1.2
飲料缶生産高（千ケース）	6,447	6,801	6,839	5,863	4,736	5,744	6,776	6,517	6,688
前年同月比（%）	▲ 9.9	2.8	▲ 2.7	▲ 7.8	▲ 10.5	▲ 6.3	▲ 6.3	▲ 3.4	▲ 9.2

<織 維>

	R 6年9月	10月	11月	12月	R 7年1月	2月	3月	4月	5月
広幅織物（千㎡）	815	892	975	895	881	840	860	771	621
前年同月比（%）	1.8	2.9	▲ 7.0	▲ 10.4	▲ 10.3	▲ 9.9	▲ 7.3	▲ 14.8	▲ 17.2
小幅織物（千㎡）	17	16	17	20	15	15	16	17	16
前年同月比（%）	▲ 5.7	▲ 9.9	▲ 6.8	6.6	▲ 2.7	▲ 4.7	▲ 11.0	▲ 3.5	▲ 3.0

<観 光>

	R 6年9月	10月	11月	12月	R 7年1月	2月	3月	4月	5月
延べ宿泊者数 （千人泊）	1,752	1,816	1,936	1,923	1,636	1,638	2,019	1,724	1,846
前年同月比（%）	▲ 2.1	4.2	2.0	3.4	▲ 1.4	▲ 8.4	▲ 3.5	0.2	4.0
観光施設（10施設）入込 （千人）	312	415	401	322	308	298	460	525	512
前年同月比（%）	▲ 17.0	▲ 11.8	▲ 12.5	▲ 3.6	25.6	28.5	27.5	▲ 17.3	▲ 34.6
有料道路（4路線）通行 量 （千台）	594	611	628	630	566	546	658	582	597
前年同月比（%）	1.7	1.0	1.1	2.7	0.5	▲ 5.0	1.9	▲ 11.9	▲ 14.4

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去 10 年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

<https://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・ 大型小売店販売額	・ 鉱工業生産指数	・ 有効求人倍率	・ 国内企業物価指数
・ 専門量販店等販売額	・ 鉱工業在庫指数	・ 雇用保険受給者実人員	・ 県内金融機関貸出残高
・ 自動車新規登録台数		・ 完全失業率	・ 信用保証協会保証金額
・ 新設住宅着工戸数		・ 所定外労働時間指数	・ 企業倒産件数
・ 清水税関支所管内輸出額			
・ 清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資 料 名	提 供 元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	https://www.ejcs.co.jp/report/public-works/prefecture/
設備投資	日本銀行静岡支店	https://www3.boj.or.jp/shizuoka/index.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	https://www.boj.or.jp/statistics/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資 料 名	提 供 元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	https://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	https://www.mof.go.jp/statistics/
国際収支		
機械受注	内閣府	https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	https://www.mhlw.go.jp/toukei_hakusho/toukei/
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告

令和7年7月号 通巻591号

発 行 静岡県経済産業部
令和7年7月

編 集 経済産業部政策管理局産業政策課

〒420-8601

静岡市葵区追手町9-6

TEL 054-221-2635

FAX 054-221-3217

E-mail sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

URL <https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/introduction/soshiki/1002123/1041026/1025441.html>